

11月1日(水) 学校朝会



吉田校長先生のお話

【みんなちがってみんないい】

「みんなちがってみんないい」この言葉は、金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」という詩の最後に書かれている一文です。小鳥には小鳥の、鈴には鈴の、そして私には私の良さがあり、その中で みんな一生懸命生きてみると みすゞさんは、この詩の中で言っています。漁師の村に生まれ育った みすゞさんは、弱いものや小さな命に目を向け、いとおしむ、優しくて心温まる詩をたくさん作りました。「大漁」という詩も 自分が 鰯だったらと 鰯の立場になって考える、みすゞさんの心の鋭さに驚かされます。

世の中のもの全てにかけがえのない命があり何にも変えられない良さがあるよ、だから比べるのではなく、それぞれの違いを大切にしていこうという思いや願いが込められているように思います



【11月の生活目標】は…ふじみの あいさつをしよう

ふだんから元気よく じぶんから みんなと目を合わせて あいさつをしようです。挨拶(あいさつ)という漢字の意味を知らべると「心を開いて近づく」という意味があるそうです。お互いに元気よく あいさつをして学校生活も気持ち良く 過ごしたいですね！

今日から4週間
3名の教育実習生に
お世話になります。
どうぞ よろしく
お願いいたします。

